

記念館新聞



財団法人柳田國男・松岡家
顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038
の12
電話：0790-22-1000

伊勢大神楽

重要無形民俗文化財
「伊勢大神楽」が今年も
記念館にやってきました。

舞姿に笛、太鼓、あて
やかな獅子舞や曲芸で、
無病息災、家内安全をお
祈りします。

当日は、辻川区氏神、
鈴の森神社で奉納の舞、
次に柳田國男と兄弟の生
家を祈り清祓いをし、記
念館前庭で獅子舞を納め
てもらいます。

文化財に指定されてい
る神楽を身近で見られる
チャンスです。ご家族、
お友達などお誘い合せの
上、多数
ご観覧
ください。



日時 11月15日(土)

13時30分

※雨天の場合は翌日の日曜日

場所 記念館前庭

観覧料 無料

＊伊勢大神楽とは＊
江戸時代から400
年続く伝統芸能で、獅
子舞や曲芸を披露しな
がら西日本各地を巡行
しています。

伊勢神宮に参拝でき

ない人にお札を届けた
のが始まりといわれて
います。



一生に一度の
お伊勢参りは庶民の夢



江戸時代、お伊勢参りの
大ブームが起こりました。
宿屋や茶店、為替などのサ
ービスが向上した結果、辛
い信仰の旅は楽しい観光
の旅へと変化していった
のです。『東海道中膝栗毛』
の「弥次さん喜多さん」が
めざしたのも伊勢でした。
しかし、伊勢への旅費は
相当な負担でした。そこ
で、お金を出し合って、く
じ引きで当たった代表者
が順にお伊勢参りをする
「お伊勢講」という仕組み
も生み出されました。
そんな当時の庶民にと
って、伊勢大神楽の獅子舞
や曲芸は、旅への夢を大い
にふくらませるものでたっ
たことでしょう。

くによはん覚書

亥の子餅について

旧暦10月の亥の日亥
の刻(午後9時～11時)
に亥の子餅を食べて健康
や子孫繁栄を願う行事が
あります。

柳田國男著『故郷七十
年』(神戸新聞総合出版セ
ンター)によると、この
日、子どもたちは「亥の
子餅くれんこ」と歌いな
がら菓束で地面を叩いて
村を練り歩いたそうで
す。また、家でもらった
お餅の重箱には菊の花が
入っていて、蓋をとると
プーンとよい香りがした
といわれています。

今年は第一の亥の日が
11月7日、第二の亥の日
が11月19日です。國男少
年の頃は第二の亥の日に
行事を行っていたそうで
すが、この日だけ
は、ダイエツトを
気にせず、夜食に
お餅はいかですか。



岩田健三郎版画教室

版画家、岩田健三郎氏
の指導で、年賀状の版画
教室を開きます。来年の
干支「丑」を彫りますが、
丁寧に教えていただけま
すので、絵の苦手な方でも大丈夫です。

日時 12月6日(土)

13時30分

場所 記念館2階講義室

費用 材料代一枚百円

持参品 筆記用具、彫刻
刀をお持ちの方

はご持参下さ
い。彫刻刀をお
持ちでない方は
お申し出下さ
い。

申込みTEL 22-1000

＊小学生低学年の方は保
護者の方と一緒に参加
してください。

＊当日、「もちむぎのやか
た」でもイベントが開
催されます。



柳田國男と「笑い」展

11月24日まで

開催中



「笑い」をテーマにした
特別展が開催中です。

◆展覧会◆

○播州弁まんが展

○吉四六(きつちよむ)さん展

◆講演会◆

播州弁とユーモア人生

講師：井上四郎氏

(播州弁研究会代表、
元大河内町長)

11月24日(月・振休)

13時30分～15時

申込みTEL 22-1000



◆ご利用案内◆

【開館時間】

午前9時～

午後4時30分

【休館日】

月曜日・祝日の翌日、12
月28日～1月4日

【入館料】

大人200円 (団体割引は
学生150円 20名以上
小人100円)

会員募集中!

会員の方は更新をお願い
いたします。